

試合番号 : 181	試合会場 : サントリー箕面トレーニングセンター体育館	観客数 : 0
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:18	試合時間 : 01:18
主審 : 山本 和良	副審 : 新田 浩幸	
サントリーサンバーズ 通算 11勝 2敗 ポイント : 31	25 第1セット 22 25 第2セット 17 25 第3セット 20 第4セット 第5セット	VC長野トライデント 通算 1勝 14敗 ポイント : 6
監督コメント 今日の試合は、サンバーズにとって特別なものだったと思います。昨年末にコロナ感染者が出てしまい約2週間チーム活動ができず、本当に苦しい時間を過ごしました。コンディションや試合に向けてのモチベーションを保つことも難しかったと思います。2021年初戦で硬さもみえましたが、試合が進むにつれ、感覚を取り戻してくれたと思います。VC長野のパフォーマンスも素晴らしい、内容の充実した試合だったと思います。明日はさらに良いパフォーマンスを発揮できるように準備していきたいです。このような状況の中、試合をサポートしてくれる皆様とファンの皆様に感謝致します。今年もサンバーズをよろしくお願ひします。	3	0 監督コメント 先週のリーグ中止から再開し、2021年最初のゲームとなりました。コロナというリスクがある中で、運営に尽力を頂きました皆様に感謝申し上げます。試合においては、勝負所や中盤にサービスエース等を取られたのが痛かったです。明日へ向けしっかりとまた準備をしたいと思います。本日も熱い応援ありがとうございます。
要約レポート 互いに2021年の初戦を白星で飾りたいサントリーサンバーズとVC長野トライデントの戦いは、今シーズン3戦目となった。第1セット、スタートから一進一退の攻防が続くが、中盤サントリー大宅のサービスエース等で3点差が付くと、その点差を維持し、最後はムセルスキーの強烈なスパイクが決まり先取した。第2セット、VC長野はスタートからリヴァンのスパイクで2点をリードするが、サントリーも点を重ね、中盤でVC長野に追いつく。その後、サントリーは季のサービスエースでリードすると、塩田のナイースリブからリズムを掴み、ムセルスキーのサービスエースが2本連続で決まり、セットを連取する。第3セット、リズムを変えてこのセットを奪いたいVC長野はルーキーの河東を投入するが、徐々にリードを広げられ、サントリー季のサービスエース、ムセルスキーのバックアタックが炸裂し、セットカウント3-0でサントリーが新年最初のホームゲームを勝利した。		

試合番号 : 182	試合会場 : 愛媛県武道館	観客数 : 670
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:49	試合時間 : 01:49
主審 : 江下 毅	副審 : 本間 明	
JTサンダーズ広島 通算 8勝 7敗 ポイント : 26	25 第1セット 16 25 第2セット 17 20 第3セット 25 25 第4セット 18 第5セット	東レアローズ 通算 7勝 6敗 ポイント : 20
監督コメント まずは、このコロナ禍の中、試合ができることに感謝いたします。2021年の初戦を勝利することができて、いいスタートが切れたと思います。選手は自分の仕事を熱く、最後までやってくれたと思います。明日も全員で戦います。応援よろしくお願ひします。	3	1 監督コメント 明けましておめでとうございます。今年も東レアローズをよろしくお願ひします。やはり初めて世界中が大変な中で、私たちにスポーツをするというチャンスを頂きありがとうございます。また試合をするにあたり、たくさんの方の協力があったバレーボールができています。今日は力を出し切ることができませんでしたが、明日の試合に向け感謝をプレーで表現できるように頑張りますので、応援よろしくお願ひします。
要約レポート 第1セット、JTサンダーズ広島が多様な攻撃とブロックで得点を重ね一気に点差を広げた。東レアローズはメンバーチェンジ等で流れを引き戻そうと試みたが、差を詰めることができずJT広島が先取した。第2セット、序盤からJT広島はエドガーの攻撃やブロックが決まり、流れを掴む。そのまま流れを切らすことなくセットポイントまで持ち込み、最後はJT広島の陳がアタックを決めて連取した。第3セット、後がない東レは序盤から富松、パダルの攻撃で流れを作った。JT広島が粘りを見せるものに対しはパダルのサービスエース、小澤の攻撃で点差を広げ、最後はパダルがアタックを決めてセットを取った。第4セットはJT広島が小野寺、山本のアタックで点差を引き離していく。東レは藤井のサーブで相手を崩し連続得点するもの追いつかず、最後は小野寺のサービスエースでJT広島が勝利した。		

試合番号 : 183	試合会場 : 北九州市立総合体育館	観客数 : 349
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:28	試合時間 : 01:28
主審 : 服部 篤史	副審 : 宮原 里実	
堺ブレイザーズ 通算 8勝 7敗 ポイント : 24	25 第1セット 21 25 第2セット 22 25 第3セット 23 第4セット 第5セット	ウルフドッグス名古屋 通算 11勝 4敗 ポイント : 32
監督コメント 今日は2021年最高のスタートを切ることができました。髙野の活躍には驚いた部分もあったが、チームに勢いを与える素晴らしいプレーでした。両ミドルブロッカーも安定していたし、関田も今シーズン最高のプレーをしたと思います。山本の守備も安定していて、ジョンも大切な所で決めていました。こうした状況の中でも、足を運んでくれたサポーターの皆様、最高のプレーをお見せすることができて本当に良かったと思います。明日もまた、皆様に力を与えられる様、頑張っ参ります。応援よろしくお願ひします。	3	0 監督コメント 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。長い間、試合から遠ざかっていたため大変激しい試合となりました。やはりスタート時は、いつもの我々のリズムでプレーする事が難しかったと思います。その後は随所に良いプレーが見られました。明日もウルフドッグス名古屋らしいスピーディなプレーをお見せできるよう、これから準備していきます。我々のプレーがファンの皆さまをはじめ、全てのサポーターの皆さまの「光」になれるように日々精進していきますので、これからもよろしくお願ひします。
要約レポート ホームゲームで勝利し、上位に食い込みたい6位堺ブレイザーズと、連勝を伸ばして首位をキープしたいウルフドッグス名古屋の一戦。第1セット序盤、髙野・ジョンを中心に攻撃する堺と、クレクを中心に山田・高梨の攻撃を繰り返す名古屋のゲームは、一進一退の攻防が続いた。終盤、堺は髙野の攻撃と関田のサービスエースによる連続得点で一気にリードを広げ、最後は松本が速攻を決めて先取した。続く第2セット、クレクにボールを集めて徐々にリズムを取り戻し、リードを保ったままゲームを進める名古屋に対し、堺は髙野のサイド攻撃に出来田・松本の速攻を繰り返して得点を重ねる。終盤、堺はリフ・フーバーで投入した山口のサービスエースから松本のブロックで一気に逆転し、そのままセットを連取した。第3セット、後の無くなった名古屋は、高梨・クレクのサービスエースでリードを広げる。そのまま終盤を迎えたが、堺は松本の速攻や、関田の効果的なサービスから髙野の連続得点で逆転し、ストレートで勝利した。		

試合番号 : 184	試合会場 : ベっぶアリーナ (別府市総合体育館)	観客数 : 569
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:57	試合時間 : 01:57
主審 : 山本 晋五	副審 : 平田 敬基	
大分三好ヴァイセアドラー 通算 0勝 15敗 ポイント : 3	23 第1セット 25 25 第2セット 13 25 第3セット 27 19 第4セット 25 第5セット	FC東京 通算 5勝 10敗 ポイント : 16
監督コメント 試合の入りは良いリズムで展開していったが、要所での点をとらなければいけない所でミスを出してしまい、流れを掴めなかったことが敗因だと思います。明日の試合では、しっかり修正して挑みます。この様な状況の中、ホームゲームにお越し下さった皆様ありがとうございます。	1	3 監督コメント 今日のゲームでは、大分三好のオフェンスにかなり苦しめられたが、選手は粘り強くディフェンスをしたことで、僅差のゲームをものにすることができた。明日も非常に激しい展開になることが予想されるが、高い集中力をもって戦い、勝利を目指します。本日も応援ありがとうございます。
要約レポート ホームで今季初勝利を飾りたい大分三好ヴァイセアドラーと、連勝を狙うFC東京との一戦。第1セット序盤、大分三好はバグナスのブロックとアタックで流れをつかみ、リードを広げる。終盤、FC東京は小田嶋のサービスエースで19-18と初めてリードすると、勢いそのままに25-23でこのセットをとる。第2セット、大分三好はストク頓の効果的な攻撃で、大きくリードする。大分三好は、川口の活躍もあり、一時は点差を10点に広げるなど、終始危なげない試合運びを見せ、このセットを奪い返す。第3セット、大分三好の藤岡、FC東京・手原の多彩なトスワークにより、終盤までシーソーゲームとなる。デュースまでもつれたこのセットは、FC東京が長友のアタックにより27-25でとった。第4セット、大分三好はバグナスとストク頓、FC東京は手塚と長友を中心に攻撃し、接戦となる。終盤、FC東京は迫田のアタックと手原のブロックで流れをつかむと、連続得点でこのセットをとり、2021年最初の熱戦は、FC東京が勝利を収めた。		

試合番号 : 185		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,013						
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:50		試合時間 : 01:50		主審 : 村中 伸		副審 : 原 啓之				
パナソニックパンサーズ		通算	12 勝	3 敗	25	第1セット	22	ジェイテクトSTINGS		通算	10 勝	5 敗
		ポイント : 35				25	第2セット	23			ポイント : 26	
監督コメント	強い相手との試合で勝利を取れたことは非常にうれしいです。サーブ、ブロック、ディフェンスが全て良かった。深津のトス回しがバランスよく、今日は完璧だった。第2セットの終盤に、清水の代わりに大竹を入れたことも大きかったと思います。2人の活躍があったからこそ、勝利に繋がったと思います。明日も大事な試合になるので、引き続き応援よろしくお願いたします											
	3											
	年が明けて初めての試合だったので勝ちたかったですが、力一歩及ばずでした。ただ良いプレーも多く出ているので、細かい部分を詰め、気持ちを切り替えまた明日の試合に臨みます。本日もたくさんの応援ありがとうございました。今年もジェイテクトSTINGSを宜しくお願いいたします。											
	1											
	監督コメント											
要約レポート												
昨シーズン覇者ジェイテクトSTINGSと雪辱を果たしたいパナソニックパンサーズの一戦は、3-1でパナソニックが勝利した。第1セット、序盤から両者譲らない展開が続く。ジェイテクトは西田のサービスエースでリードするも、パナソニックは清水の攻撃等でリズムをつかみ、セットを取る。第2セットも一進一退の攻防が続くも、パナソニックはクビアクの連続バックアタックで抜け出し、最後はサイドアウトの末、セットを連取した。第3セット、もうセットを落とせないジェイテクトは、攻守にわたり粘りをみせ、このセットをものにした。第4セット序盤、パナソニックは久原の攻撃から勢いに乗り、リズムを掴む。ジェイテクトも西田の攻撃等で追いつがるも、パナソニックがこのセットを難なく奪い取り、見事ホームゲームで勝利した。												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗
		ポイント :				第2セット		ポイント :		
監督コメント										
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗
		ポイント :				第2セット		ポイント :		
監督コメント										
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗
		ポイント :				第2セット		ポイント :		
監督コメント										
要約レポート										